

コロナ対策に関して

2021年11月22日版

このガイドラインは本作品に限るものです。

以下は、このガイドラインの柱となる「7つのポイント」です。

① 体調不良者は休む

発熱(37.2℃以上を目安)などの風邪の症状、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、体調の変化、いずれかがある場合は出勤せず、自宅で休んでください。発熱がなくても、風邪症状がある場合も同様です。

② マスクの着用

現場では、スタッフは必ず不織布マスクを着用、出演者は本番以外、不織布マスクを着用。

(感染防御率は不織布マスクが最も強く、布製・ウレタン製の準に防御率は低下します。

特にウレタン製は、マスクを装着していないのに近いと考えてください。不織布マスクにかぶれやすい人は布製やウレタン製マスクの上に不織布マスクをするダブルマスクで対応してください。)

③ 換気の徹底

屋内の撮影では必ず2か所換気させ、空気が滞留しないようにしてください。

④ 手指消毒>環境消毒

まずはこまめな手洗いを励行することが需要。ウイルスの付いた場所を触った手で、口・鼻・目を触ると感染します。環境の消毒より手洗いと手指の消毒を優先してください。

(最も重要なことはきちんとした不織布マスク装着と手洗い・消毒です。)

⑤ 咳エチケット

咳やくしゃみをするときは、マスクをして口と鼻を覆う。マスクが無いときはティッシュ、ハンカチで口と鼻を覆う。

人がいる方に向かって咳、くしゃみをする行為は絶対NGです。

⑥ 食事の際のルール徹底

最も危険な局面です。対面を避け、1m以上の距離をとり、黙食を心がけて下さい。会話は全て不織布マスクを装着したうえでお願いします。

⑦ 家庭内での感染にもご注意を

常に出演者の近くにいたり、口に入るもの(弁当、消え物など)を扱うスタッフは、同居者以外との食事機会を減らし、また家庭内でも感染のリスクを避けるよう、同居者への協力もお願いしてください。

(実際に感染者を対象とした分析では、発病数日前に会食をしていることがかなり多い(9割以上)です。外食や会食が極めて強いリスクファクターになると考えてください。マスクなしで会話すると約10～

15分で感染しえるので、濃厚接触者と定義されます。また最近、デルタ株の蔓延により、感染者の多い当面は、例えばデパートの地下のように「換気がいまひとつで、人ごみや会話の多い場所」に足を運ぶのを避けることを強くお勧めします。また、以前に比べて小児でも感染しています。飛沫感染と空気感染の予防に日頃から心がけてください。)

装着方法



① ノーズクリップを上にして、マスクを顔に当ててください。



② 左右のゴムを左右の耳にかけ、マスクを固定してください。



③ マスクを上下に引っ張り、鼻と顎を覆ってください。



④ ノーズクリップを鼻に合わせて曲げ、顔に密着させてください。

マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

| 対策方法 | なし | マスク | | | フェイスシールド | マウスシールド |
|------|---------|-----|---------------------|----------------------|--------------------------------|-------------------|
| | | | | | | |
| | 吐き出し飛沫量 | 20% | 18-34% | 50% ^{*2} | 80% | 90% ^{*2} |
| | 吸い込み飛沫量 | 30% | 55-65 ^{*2} | 60-70% ^{*2} | 小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない) | |

*2 豊橋技術科学大学による実験値

マスクやフェイスシールドの効果

【スーパーコンピュータ富岳によるシミュレーション結果】

| 対策方法 | なし | マスク | | | フェイスシールド | マウスシールド | |
|------|---------|------|------------|---------------|---------------|--------------------------------|------------|
| | | | | | | | |
| | 吐き出し飛沫量 | 100% | 80% カット | 66~78% カット | 50% カット | 20% カット | 10% カット |
| | 吸い込み飛沫量 | 100% | 70% カット | 35~45% カット | 30~40% カット | 小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない) | |

【消毒・換気などの衛生管理】

- ロケ現場・支度場所等は衛生班が毎朝消毒します。
ドアノブなどは衛生班が都度消毒します。
- 各部が必要に応じて機材や物品を消毒する場合は、消毒する対象物に合う適正なものを制作から支給します。（無水エタノール・アルコール・次亜塩素酸水・パストリーゼなど）
- マスクをはずした人は会話をしない、会話をするときはハンカチなどバリア類を口元にあてがうことを徹底してください。
- スタッフは必ず不織布マスクを着用します。

＜お茶セット、食事など＞

- お茶セットはロケ時に必要に応じて必要な対策をとってスタッフに配るよう配慮します。
- 出演者用の飲料水は、間隔をあけて容器に手が触れないように置きます。
- 食事前も手洗いを徹底し、食事の際は、一切会話をしないようにしてください。

【収録に関する対策】

＜収録前＞

- 自宅を出る前に、必ず検温を行ってください。おおよその目安として37.2℃以上の場合や体調が優れない場合は、番組責任者まで連絡してください。
- ロケ場所に入る際は、手のアルコール消毒を必ず行ってください。
- ロケの際は、基本、バスに乗る際に検温。
衛生担当者がいない場合などは、降車時に衛生班が検温します。
- 衣裳・持ち道具・ピンマイクと送信機・出演者用のマスクなどの消毒は、各担当が行います。
- シーバーは、使用者がアルコール消毒して充電器に設置するか、消毒して制作部に渡してください。
- 出演者の館内移動用スリッパや防寒具などは自前。ない場合は、消毒済のものを制作が用意します。
- 出演者にも現場に入る際、マスク交換と消毒を行うことを徹底します。
- エキストラにも出発前に自宅での検温、マスク装着、到着後の手指の消毒を義務付けてください。

<収録中>

- 出演者…メインキャストは不織布マスク、エキストラも不織布マスクの着用をベースとして行います。
- 出演者はマスクを外している局面も多いため、出演者の安全、安心に細心の注意を払ってください。
- 出演者やスタッフが現場などで密にならないよう気をつけてください。また、エキストラの待機場所は、余裕を持った広さの場所を確保してください。
- 出演者間で共有する衣裳や小道具がある場合は、必ず除菌してから再使用してください。
- 飲食シーンにおいても下記のように対応してください。
 - ① シーン収録前に念入りに環境除菌。
 - ② テストまでは飲食物にラップをかけ、出演者は食べるフリのみ。
 - ③ 本番前に出演者の手指除菌・本番前ギリギリにラップを外す。
 - ④ 飲むだけのシーンは、テスト前に手や器を除菌してから進める。
 - ⑤ 飲食物の交換は、ブロックごとなど適宜行う。

■撮影の流れ

- ★段取り・・・出演者は番組で用意した不織布マスクを着用。
- ★テスト・・・出演者は不織布マスクを着用。
 - ↓※外や現場の空きスペースでヘアメイクの直しを行う。
 - ↓※マスクは収納可能な衣裳の出演者には個人管理してもらう。
 - 最終扮装手直しを行う。
- ★確認、本番・・・出演者はマスクを外している状態に。
 - ↓※出演者は、本番後、再びマスクを着用する。
- ★衣装チェンジ・・・順番に支度場で行う。

<収録後>

- 衛生班は使用した各場所の消毒をします。

<車両について>

- 暑さ、寒さが厳しくても車内換気優先のため、窓を開けさせてください。
- 車内では会話を慎み、飲食は禁止です。どうしても食事をしなければならない際は、窓を大きく開け、会話を一切しないで食べてください。その場合移動中の車両は禁止です。停まっている車両限定です。
- 飲み物のゴミなどは、車内に放置せず袋に入れて現場のゴミ箱に捨ててください。

<もし、具合が悪くなったら・・・>

- 撮影中に体調不良を感じたら、直ちに各部チーフに報告してください。
- 本人は現場を離れ、公共交通機関を使わずに帰宅するか適切な医療機関を受診してください。時間などにより当日受診できない場合は、翌日必ず受診し、その結果を番組責任者に報告してください。
- 各部チーフは、当該者のフォローをするとともに必要な場合は代替りの要員を確保してください。

<そのほかのお願い>

- ロケ先では、ロケ先の感染対策ルールに従ってください。
- ロケ時の喫煙においても、ロケ先の喫煙所の注意書きに従い、マスクを外した状態で会話をしないことを徹底してください。
- このガイドラインにないことでも、出演者や関係者から、安全や安心を守るための要望があれば、できるだけ意向に沿うようにしてください。
- このガイドラインにないルールが、各所属先のガイドラインにある場合は、それを遵守するようにしてください。
- 新型コロナウイルスによる発熱は不安定です。前日の体温にもご注意ください。

皆さまにはご不便をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願ひいたします。